

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2016 春
vol. 11



南房総の古民家ろくすけで地域住民とチーバくん大使が国際交流。美味しい郷土料理を食べたときの笑顔は、みんないっしょ。(平群下)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「ろくすけ生活を支えてくださるみなさん」	
□12～2月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「みかん農園の援農」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□4月～6月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

千葉自然学校は、4月を迎えてすぐに開催する南房総市大房岬の「さくらフェスタ」をもって新しい年度をスタートすることが恒例となっています。

岬に咲くソメイヨシノや八重桜を求めて多くの方で賑わっていますが、岬を訪れる多くの方に満足して頂くために、一年を通じてボランティアの方々や職員総出による整備に取り組んでいます。

ところで今年度は、自然学校に新しく4名の若者が仲間に加わり、公園や自然の家などで仕事をするようになりました。

既に自然体験活動に係わっている人や新しく社会に巣立つ人を採用しましたが、この者たちが一日も早く一線で活躍する事を楽しみにしているところです。

平成28年度は、千葉県立君津亀山少年自然の家の指定管理が新たに5年間延長されましたが、南房総市大房岬自然の家や千葉県立大房岬自然公園など公的施設を活用した活動を更に進展させたいと考えています。

千葉自然学校も、対象年齢が幼児からシニアまで、事業も国、県、市町村更に企業団体からの受託、その内容も自然体験、農業、地域おこし、健康長寿社会づくりなど年々多岐にわたって来ています。

また仮認定 NPO 法人としてスタートした昨年度は、お陰様で寄付金3,000円以上、100名以上と言う条件を達成することができ、日頃自然体験の機会に恵まれない子どもに、体験を提供することが出来ました。

2年目の今年度はこの条件をクリアし、晴れて認定 NPO 法人となり、公益団体として次のステップに進むべく一層努力したいと考えています。

私たち千葉自然学校がやっている体験活動は、社会の中では細やかなものですが、少しでも社会の片隅を照らすことが出来ればと考えています。

今年度も、皆様のご支援、ご協力をお願いします。



満開のソメイヨシノ(大房岬)

「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

森・里・川・海。これらを舞台におこなわれてきた自然体験活動は、スポーツや教育、レジャー活動の枠組みでとらえられてきたことが多かったと思います。しかし最近の研究では、自然の中に身を置くことで、私たち人間の心身の健康を保つために様々な良い効果があることが実証されてきました。例えば、陽射しを浴びる、木陰に佇む、裸足で波打ち際を歩く、森でハンモックにゆられるなど、これらのことが心身の癒しにつながっているらしいのです。

「子どもが生まれたら潮風に当てにいくと丈夫な子どもになるよ」という祖母の言葉を思い出しました。現代社会においては大人も子どもも心身の疲れを覚えつつ生活しています。

特に都市部の生活者ほどその影響は顕著だそうです。そうした方をぜひ南房総にお招きして、滞在していただき、心身ともによみがえり帰ってゆく。そんな旅を提供できたらと考えています。心身を癒すことを目的にした旅をヘルスツーリズムという概念で表します。私たちがおこなってきた自然体験活動をまた異なる側面から捉えて、エビデンス（根拠）を確立する活動を地域と共に進めています。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「トイレのスリッパ」

トイレに入ろうとしたら、スリッパが散乱している。しかも、中には片方だけ「なぜこんな所に？」と思うほど、遠くにあることも…。こんな光景を見かけることがあります。その度に直すのですが、また時間をおいてトイレに行くと同じ状態になっていることもあります。

スリッパを使ったら元の位置に戻すということをいかに伝えたら、一番効果的に子どもに響くのでしょうか？当施設のトイレには、入り口すぐの床面に「トイレのスリッパをそろえてね」という掲示を貼ってあります。ただ、あまり効果がないようです。また、掲示だけではなく、施設紹介などをするオリエンテーションの場面でも職員が「ここは学校と同じです。廊下は走らない、使ったところはきれいにする」と伝えています。



当施設は年間4万人以上の利用があります。多くの方が気持ちよく施設を使っていただくために「スリッパをそろえる」ということ以外にもルールがあります。こうしたルールを伝えるときに、「どんな手段で」「誰に」「いつ」伝えるか、考えることもインタープリテーションの一つだと思います。「すうっと響く魔法の言葉」を模索中です。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 平野祐仁

最近ある雑誌で公園には禁止項目が多いといった記事が載りました。確かに禁止事項は多いと感じます。しかしながら、公園の位置づけを理解しないで考えるのも問題がありますので、ちょっと公園について調べてみました。

一般に公園と呼ばれるものは営造物公園と地域制公園に大別されるようです。そして、営造物公園は都市公園法に基づき、地域制公園は自然公園法に基づきます。都市公園法は国の国土交通省と県市町村が関係し、自然公園法は環境省が大きく関わります。更に都市公園はその役割にて14に分類されています。

従って、同一基準での話はなかなか難しいと思いました。改正自然公園法が平成22年に施行され生物多様性が強く謳われました。ここ大房岬自然公園は南房総国定公園に位置しますので、この自然公園法を遵守することになります。

公園では、やはり安全に関わる行為は最優先事項ですので法と照らし合わせながらの禁止事項の設定は必要なのかも知れません。



12①②月の現場レポート

《主催事業》



週末・子ども

森のクリスマスキャンプ

～鶏の丸焼き！スノードームづくり！夜はサンタ大作戦！～

① 12 / 19 (土) ～ 20 (日) 1泊2日 施設泊 君津亀山少年自然の家 年中～小学6年生

◆鶏の丸焼き／スノードーム作り／サンタ大作戦



参加者42名。陽射しが暖かい冬の森で、仲間と協力し合いながらたくさん「たのしい！」が聞こえてくるキャンプとなりました。

クリスマスパーティ用のお料理も時間をかけて作って、お部屋の窓ガラスに絵を描いて装飾もして、夜はサンタに変身して仲間にメッセージカードをプレゼント。お土産のスノードームも手作りしました。用意されたものを楽しむのではなく、自分たちの手で作り上げたクリスマスを楽しんでくれたお友達。みんなの気持ちが詰まったクリスマスキャンプは特別なものになりました。

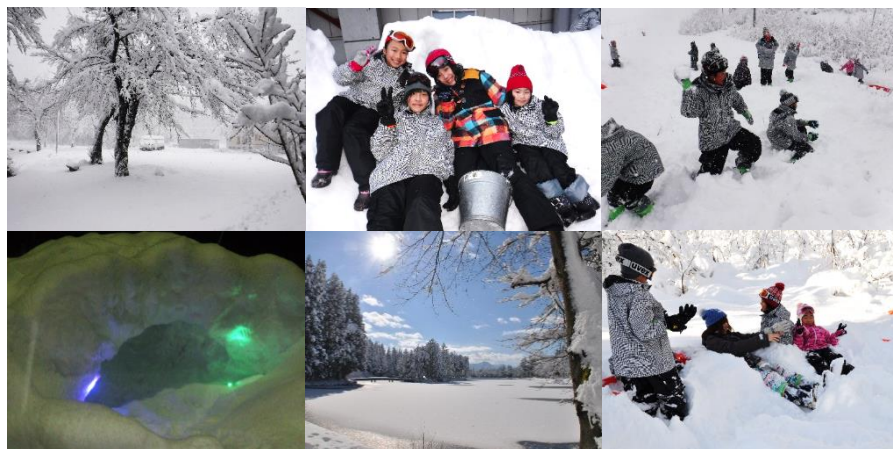
週末・子ども

スノーあそベンチャーキャンプ

～雪国でとびっきりの冬休み～

12 / 26 (土) ～ 28 (月) 2泊3日 民宿泊 新潟県南魚沼郡六日町 小学生

◆雪合戦／かまくらづくり／スノーハイキング／そり遊び



今年は場所を新潟県南魚沼市に移し、実施しました。実施前は全国的な暖冬の影響による雪不足が心配されましたが、ちょうど期間中降雪に恵まれ、2日目からは豪雪地帯特有のふわふわのパウダースノーを思う存分楽しむことが出来ました。

目の前に雪があれば、雪合戦、雪に飛び込む、自分や友達を雪にうめてみる、かまくらをつくる、ソリやおしりで斜面をすべる、雪ダルマをつくるなどといった遊びが自然と生まれます。自然豊かな環境があれば、子どもの頭はフル回転で「楽しい遊び」をどんどん作りだしていきました。

週末・子ども

チーズケーキキャンプ

～クリームチーズ&ダッチオーブンを使ったチーズケーキ作り～

1 / 30 (土) ～ 31 (日) 1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 年中～小学生

◆牛のえさやり／クリームチーズ作成／ダッチオーブン調理



キャンプ中は天候が心配されましたが、無事牧場で活動ができました。1日目の牧場での活動では牛の生態やチーズケーキが出来るまでの過程を教えてもらいました。牛やポニーにエサをあげている時の子どもの目はとても輝いていました。

チーズケーキに使うクリームチーズを班の仲間と協力して作り、すべてが手作りのチーズケーキは子どもにとって特別なものになったのではないかと思います。

週末・子ども

お米 DE ピザ&スイーツキャンプ

～君津産のお米や食材を使って、スイーツやピザを作っちゃおう！～

2/20(土)～21日(日) 1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 年中～小学生

◆収穫体験／米粉のクレープ・ピザ作り



天候はあいにくの曇り空、雨の予報も出ていたのでハイキングから予定を変更して菜花収穫体験とトマトの包装に挑戦しました。おそろいの赤い帽子をかぶり「いらっしやいませ」と売り子さんに変身。きみかめでは君津産のいちごで手作りクレープも作りました。

2日目は晴天！いよいよピザ作りのスタートです。みんなで作ったピザに「おいしい！」の感想多数。お片づけの手際も良く終了。最後のひと遊びは、みんなのお気に入り体育館で遊びました。

大人(シニア)

「房総の古道を歩く②」

12/5(土) 日帰り 富津市 千葉県南房総市

渡海船の船だまりで栄えた湊川。白河藩・会津藩の陣屋を抜け信仰の山大沢天王山へ



天候は快晴！古道を巡るシリーズの2回目は富士山、房総の山並みがみごとでした。

ロングコースとなりましたが、みなさん無事にゴールの浜金谷に到着しました。山から海へ素敵なコースでした。

大人(シニア)

「房総の古道を歩く③」

1/16(土) 日帰り 千葉県富津市 南房総市

志駒の名水から安房の国を目指す。国境の八丁山は江戸時代の絵図にもあった山



天候は快晴！絶好のハイキング日和です。房総の山の達人、川崎さんを迎えた最後の古道歩きです。

八丁山の登りでどきどきした場面もありましたが、最後はのんびりと山頂近くで過ごす時間も取れました。

大人(シニア)

「南房総最南端 白浜城山と虚空蔵山」

2/6(土) 日帰り 千葉県君津、富津市周辺

房総最南端。野島崎灯台や里見氏ゆかりの城山をめぐる



薄曇りの南房総最南端の白浜からスタート。初期里見氏ゆかりの城山を巡り、長尾川にかかるめがね橋も見学。下立松原神社で心静かに、最後は豪快な太平洋を望む野島崎へ。緩急に富んだコースを楽しみました。



子どもゆめ基金事業

「畑で親子料理教室」

皆さんは1日にどれくらい野菜を食べますか？大人の体に必要な野菜の量は1日350g、だいたい両手の上に軽く山盛りにした量になります。大人が野菜を敬遠すれば、子どもは必然的に必要なだけの野菜を食べる機会を失ってしまいます。

そこで、この12・1月に体験農園 in 岩名で親子を対象にした料理教室を開催しました。その中で皆さんに「野菜は好きですか？」と聞いてみると、子どもよりも大人に野菜が苦手だという方が多かったのです。

今回の料理教室は、子どもと一緒に、できるだけ簡単に、でも楽しく、そして美味しい。そんなレシピを準備し、「おやつ作り」と「漬け物作り」を行いました。

「ニンジン嫌いの私も、ニンジンの実力を知る一日でした」。イベント後、参加された保護者の方から連絡をいただきました。体験農園がこれからもそんなきっかけを生む場所になってくれればと思っています。

(文：佐藤玲子／かつを)



ボランティア活動マッチングイベント

「お見合い大作戦！」千葉自然学校・会員校×千葉シニア自然大学受講生



今年も千葉シニア自然大学受講生と会員校との出会いの機会として、ボランティア活動マッチングイベントを実施いたしました。受講後の次なるステージ、講座で得た知識や技術を社会に貢献するための始めの一歩です。

今回は、9つの団体に参加して頂きました。初めは、受講生の皆様方も活動のイメージがわからず、どのように自分と繋がるのか疑問や不安も多かったようです。しかし、短時間の中で、熱心に見聞きし話しあう様子がみられました。その中で、自分の興味と条件（場所・アクセス）のマッチングが難しいといった状況もありました。

この場を持つことで、ボランティア活動にあまり興味がなかった方が『自分にも出来ることがある』と感じ、繋がる意義は大きいと感じています。更なるより良い場づくり、橋渡しを今後も続けていければと思います。

(文：谷慶子／けろっぴ)



ロングトレイル事業

「南房総ロングトレイル」

大房岬自然の家では、「ロングトレイル」のツアー実施や、コース開発をおこなっています。ロングトレイルは、「踏み跡」を意味し、山頂を目指すだけでなく、歩きながら地域の自然や文化を楽しむことを目的としています。

健康づくりとして、レジャーとして、ライフスタイルとして、自然の中を「歩く」（トレッキングする）というニーズが非常に高まっています。山岳地域の山登りとはまた一味違った、南房総ならではの里山、里海の風景を感じながら歩くことができるのが特徴です。

平成25年度から主催事業としてスタートしました。現在は、旅行社とタイアップし、都市部の方をご案内しています。

今後の展望としては、手軽に歩けるコースから運動強度の高い幅広いコースや、海辺から深い森までのバリエーション豊かなコースを開発し、新しい地域の魅力を発信できるようなプログラムにしていきたいと考えています。

(文：白井健／ネギ)



■こんな取り組みもしています■

千葉県都市農山漁村交流活性化事業

グリーン・ブルーツーリズムを地域活性化の起爆剤に！年度末に受入団体のヒアリング・研修会を行いました。2月19日に開催された研修会には、なんと100名の方にご参加いただきました。この機会を活かし、ニーズに合わせてハード面、ソフト面を整えていきたいと思っています。

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬自然の家

「チーズケーキとチョコフォンデュ」

クリスマスと言えばケーキ！ということで、ダッチオーブンを使ったチーズケーキづくりとチョコフォンデュづくりを行いました。12月19日（土）と12月23日（水祝）の2回実施しました。難しそうに思えるケーキづくりですが「意外と調理が簡単！」という声もありました。生地づくりは材料を混ぜるだけ。クリームチーズなどの分量もほとんど市販の規格で大丈夫です。しっかりと混ぜたら、40分程じっくりダッチオーブンで焼き上げます。

焼き上げる時間を使ってチョコフォンデュを楽しみました。人気だったのはマシュマロを焚き火で一度あぶってからのフォンデュです。こちらも「意外と簡単！」との声が。とろとろのマシュマロに、濃厚なチョコレートが絶妙です。



あっという間に40分が過ぎました。火の通りを確認したら、チーズケーキの完成！班で仲良く切り分けて、早速焼きたてチーズケーキを食べました。ふわふわして新鮮な食感です。冷やしてもおいしいので、おうちでもぜひチャレンジしてみてくださいね。

（文：白井健/ネギ）

千葉県立大房岬自然公園

「自然保護ボランティアイベント」

「公園の管理を通してより多くの人が自然に触れられる場所を一緒につくりましょう！」をコンセプトに、剪定・園内整備・調査・展示・イベントスタッフ・ビオトープ管理など多岐にわたるボランティアイベントです。

平成27年度は年間の隔週月曜日（長期休暇などの繁忙期を除く）に作業場所を決めて、近隣の住民の方や園内を利用されるスポーツ団体、子どもの手をかりて作業を行いました。広い園内なので活動場所も多く、イベント内容も生きもののすみかをつくる活動や、景観を良くするための竹の伐採など千差万別（写真は子どもによる「カブトムシのすみかをつくろう！」の一コマ）。

こんなことにチャレンジしています！

「子どもの声がひびく地域」をめざして！

平群ツーリズム協議会の取り組み

現在、NPO法人千葉自然学校が事務局として活動している協議会は、南房総体験活動ネットワーク協議会と平群ツーリズム協議会です。前者は平成20年度に「子ども農山漁村交流プロジェクト」が始まった際に、鴨川市、館山市、南房総市、鋸南町の行政や体験活動受入れ団体等で設立され、以後、広域のグリーン・ブルーツーリズムにかかわる情報交換やプログラム実施に取り組んでいます。後者はグリーンツーリズムで地域を活性化しようと南房総市平久里7地区のうち平久里下・中・山田地区の住民、区長、行政と千葉シニア自然大学OB有志による「ろくすけを守る会」、そして千葉自然学校が構成メンバーとなって設立した平群ツーリズム協議会です。当法人と南房総市平久里とのかかわりは、平成16年に平久里下地区に所在する茅葺きの家「ろくすけ」を子どもの体験の拠点として、また職員宿舎としてお借りしたことから始まりました。空き家になっていた「ろくすけ」を少しずつ整備し利用する中で、地元の方たちの協力をいただくことも多くなり、地区の集会や祭りにも参加するようになりました。

「にほんの里山100選」にも選ばれ、「平群」という地名でも伺われるように古い歴史をもつこの地域ですが、高齢・有

特に冬の時期は隠れた桜の名所である大房岬自然公園の桜たちの手入れに力を入れています。活動の合間にお茶を飲んでの休憩でたくさんお話しをすることもでき、運動がてら参加する方も。

今年も自然保護ボランティアを募集しております。興味のある方は大房岬ビジターセンターまでご連絡をお待ちしております
（文：飯塚伊代／まりも）



千葉県立君津亀山少年自然の家

「上総七福神めぐり」

君津亀山少年自然の家は「少年」という名前のついた施設ですが、青少年のみならず大人を対象とした事業も年に何度か実施しています。その一つで、毎年恒例の大人気イベントである「上総七福神めぐり」を1月24日（日）に実施しました。

成田山新宿不動尊（弁財天）、圓鏡寺（恵比寿尊）、不動院（布袋尊）、久原寺（毘沙門天）、円如寺（寿老神）、圓明院（福祿寿）、長泉寺（大黒天）の7か所のお寺を巡りました。ご住職のありがたいお話や温かい接待をいただき、自然の家では七福神特製弁当で楽しい昼食を過ごしました。ちょうど24日はお地蔵様の縁日にあたっていたため、7つの寺に加えて像法寺にも立ち寄り、護摩焚きもご一緒させていただきました。

38名の参加者の方々は本当にお元気で、急な階段や坂道も楽々登ってしまう健脚揃い。また次回も元気で朗らかな皆様と、たくさんの福を巡り旅することを楽しみにしています。

（文：齋藤みゆき/みら）



害鳥獣被害などで耕作放棄や里山の荒廃といった地域課題を抱えています。

一方、退職後ブラッシュアップして、社会貢献やビジネスづくりを目指し開講された千葉シニア自然大学のOBの中に、「ろくすけ」を拠点として周辺の里山整備等をしようと「ろくすけを守る会」が立ち上がりました。「ろくすけ」に泊まり、地元の人も交えて酒を酌み交わす中で、みんなでこの地域を元気にしようということになり、平成25年に平群ツーリズム協議会が設立されました。協議会の目的は、「子どもの声がひびく地域」を目指して、地域の人材や資源を活用してツーリズムを実施し、若い世代を増やし子どもの声があちこちで聞こえる元気な地域にしようというものです。月1回、夜6時～8時に円卓会議で協議しながら活動を進めています。会議では活発な発言があり、事業実施に当たっては住民、行政、「ろくすけを守る会」がそれぞれのネットワークを活かして役割分担をして活動しています。ツーリズム事業としては、地元住民によるコースづくりからガイドまでおこなうハイキング「平群をあるく」と「平群郷土料理塾」をそれぞれ年4回開催しています。そのほかに、集落の草刈り、茅刈、祭りの支援、地元と都市の子どもたちの交流イベントの「風揚げ」や週末ホームステイの支援等、耕作放棄地を使ったそら豆、大豆、かぼちゃ栽培などが都市部と地元シニアの協働作業で遊び心を持ちながら楽しく行われています。
（文：遠藤陽子／サニー）



ピザ焼き体験

レンガ作りのピザ窯で、手作りピザ作りに挑戦しよう！

【開催日】4月9日（土）
 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,600 円
 【会場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

「鴨川の石造物百選」をめぐる（曾呂・太海地区）

地域に暮らす人々がその思いを託した石造物をめぐります。約 10km。舗装道路。

【開催日】4月12日（火）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,300 円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

ヨモギもちづくり

谷津田で栽培したもち米を使って、ヨモギもちづくり♪ヨモギ摘みもできます。

【開催日】4月16日（土）、17日（日）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】大人 1,000 円 小学生 500 円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

手作り鉢とガーデニング教室

板を使って鉢を作り、初夏の草花の寄せ植えをつくろう☆

【開催日】4月23日（土）
 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,600 円
 【会場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

巨木巡りトレッキング

スガジイなどの巨木と春の薬草を観察します。

【開催日】4月24日（日）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】500 円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama @shinko-ji.jp

春の養老溪谷ハイキング

観音橋から歩き始め、中瀬遊歩道経由で「房総ふれあいのみち」「滝めぐりコース」「金神の滝」など、養老溪谷を楽しもう♪

【開催日】4月27日（水）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,400 円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

野菜作り・春

夏野菜の植え付け体験をしてみよう！

【開催日】4月29日（金）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】大人 2,000 円 小学生以上 1,000 円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

カヌー&フィッシングキャンプ

子どもチャレンジシリーズ第一弾！カヌーや釣りに挑戦しよう！

【開催日】4月29日（金）～5月1日（日）
 【対象】年中・年長・小学生
 【参加費】会員 2,800 円、一般 3,100 円
 【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net



とびだせ！冒険の森～とことん昆虫編～

子どもはじめてシリーズ第一弾！きみかめの森でおもいきり虫探しをしよう♪

【開催日】5月3日（火）～5日（木）
 【対象】年中・年長・小学生
 【参加費】会員 2,300 円、一般 2,600 円
 【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

サツマイモ植え・レンゲトレッキング

サツマイモの定植体験とレンゲが咲く里山の散策♪

【開催日】5月5日（土）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】大人 1,000 円 小学生 500 円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

房総を歩こう「鋸山」

案内人は川崎勝丸氏。知られざる裏ルートを攻める！

【開催日】5月14日（土）※順延日 15日（日）
 【対象】山道を 4～5 時間程度歩ける方
 【参加費】5,900 円
 【会場】鋸山
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

野鳥観察会

日本野鳥の会会員を講師に招き、野鳥の森園内や周辺の野鳥を観察します♪

【開催日】5月14日（土）
 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】600 円
 【会場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187



6月

スターキャンプ鴨川～春の星空観察会～

月・木星・春の星座たちの観察をします。子ども対象の望遠鏡操作体験会も実施♪マイ望遠鏡持参可です。共催：君津天文同好会

【開催日】5月14日（土）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】100円
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

谷津田の田植え

里山に囲まれた段々田んぼでのんびり田植え体験♪

【開催日】5月14日（土）&15日（日）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】大人2,000円 小学生1,000円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

新緑の森の自然観察会

オオルリやセンダイムシクイなどの夏鳥をはじめ、野鳥や季節の花などを楽します。双眼鏡など最新機器の体験も♪約1.4km。

【開催日】5月15日（日）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】500円（森の宿「せせらぎ」宿泊者は半額）
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

水路の生物観察

段々田んぼの水路で生物探し！ヤゴや水生昆虫を見つけよう！

【開催日】5月28日（土）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】500円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：itoda@shinko-ji.jp

手打ちうどん作り

家庭でもできるうどんづくり♪竹を使ったお箸もつくります。

【開催日】5月28日（土）
 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】600円
 【会場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

風薫る嶺岡・大山ハイキング

白滝不動～嶺岡浅間～酪農のさと～嶺岡林道～大山千枚田～大山不動尊まで、初夏の山々と里山の景色を楽しもう♪約1.3km。やや健脚向きコースです。

【開催日】5月30日（月）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,300円（森の宿「せせらぎ」宿泊者は半額）
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森

初夏の潮騒ハイキング

道の駅オーシャンパーク～名勝仁右衛門島～魚見塚～フィッシャリーナ鴨川まで、自然と歴史を巡ります。約9km。

【開催日】6月8日（水）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,700円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

草取り&ホテル観賞

里山に囲まれた段々田んぼで草取り。夜はホテルを身に行こう♪

【開催日】6月11日（土）
 【対象】どなたでも（小学生は親同伴必須）
 【参加費】大人3,000円 小学生1,000円
 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
 【連絡先】上総自然学校
 TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

石窯パン作りに挑戦

レンガの石窯でパン作りに挑戦！

【開催日】6月11日（土）
 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,100円
 【会場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

手作りソーセージと天然酵母パンDEホットドック

作って食べようごちそうシリーズ第一弾！おいしくできるかな？

【開催日】6月11日（土）～12日（日）
 【対象】小学生
 【参加費】会員10,000円、一般13,000円
 【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

ヒメボタルに愛隊（夜の森の観察会）

漆黒の間にキラキラ光るヒメボタルに会いに夜の森を歩こう♪

【開催日】6月18日（土）、19日（日）、25日（土）
 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】大人500円、子ども300円、4才未満100円（森の宿「せせらぎ」宿泊者は半額）
 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

とびだせ！冒険の森～キャンプマスター編～

子どもはじめてシリーズ第二弾！テントを立てたり、火をおこしたり…君はキャンプマスターになれるか！？

【開催日】6月25日（土）～26日（日）
 【対象】小学生
 【参加費】会員10,000円、一般13,000円
 【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

他にも楽しいイベントもりだくさん！

Webをチェック！ 検索

●ろくすけ日和『ろくすけ生活を支えてくださるみなさん』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

皆様こんにちは。2月のろくすけの庭では梅の花が満開、庭の草木も新芽を伸ばし始めています。春分を迎え、いよいよ春本番となりました。さて、春と言えば…今年の4月でろくすけでの管理人生活が丸2年を迎えることになります。相変わらず春は花を愛で、夏は虫の声を聞きながら床に就き、秋は地域のお祭りに参加し、冬は満天の星を眺める…といった平久らしい？生活を楽しんでいます。

しかし過去を振り返ってみると当初、ろくすけにきた時は「ここで暮らしていけるのか？」と不安ばかりでした。そんな中、少しずつ地域に慣れてきたのは平久里に住む皆さんの力は大きかったように感じます。

ろくすけでは「平群ツーリズム協議会」として地元に住む方々に協力を頂いています。イベントの際は周辺の史跡などの案内や子ども達へ餅つきの指導など、匠の技を披露していただきます。

個人的には毎月の常会で顔を合わせていますが、その時にも「ちゃんと飯食ってるか？」「困ったことがあったら相談しろよ」と、優しい言葉をかけてくれます。

他にも家に帰ると、玄関に近所のおばあちゃんから菜花や手作りのちらし寿司が置いてあったりと、1人暮らしの身としては大変嬉しい差し入れを頂いたりします。

また、同世代の方々が集う平久里の青年会では、若い視点ならではの地域の情報をお聞きしたり、お祭りやイベントを通して地域の子どものとも仲良くなりました。

少しずつですが地域に知っている顔が増えてきました。逆に自分の顔も知られていると思うと嬉しい反面、しっかりしなければ！と背筋が伸びる思いです。

さて、ろくすけ生活3年目に突入です。まだまだ地域の方にご迷惑をおかけすることもあります。また新たな気持ちで1年、ろくすけの管理人として、平久里の一員として過ごしていけたらと思います。

(文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地／だいすけ)



●千葉シニア自然大学

「みかん農園の援農」

古民家「ろくすけを守る会」は、昨年初めて地元南房総市平久里の労働力不足に悩むみかん農家を年間を通して支援する活動を推進し、このたびようやく収穫後から始まる一年間の諸作業を無事終えることができました。

昨年3月の重い肥料袋を100袋以上も運んでの施肥作業、翌4月には刈り払い機を駆使しての除草作業、そして千葉県安房農業事務所普及課の専門指導員による講習を受けての摘果作業は、7月と9月に渡って実施されました。更に真夏の厳しい暑さの中、山の斜面の広大なみかん畑の草刈り作業は大変なものでした。

私どもシニアは収穫作業まで行いませんでしたが、12月からの温州みかんの収穫量は、非常に良かったとのことで、農家からも感謝の言葉をいただきました。ヤックスのホームステイ事業に参加した子どもにも楽しんでもらえたようです。

みかん農家にとって農閑期はありません。今年に入り2月にはもう次の収穫に向けて選定作業が始まり、再び専門員の方から講習を受けて、3月まで2～3回で実施する計画となっています。

1年間の支援日数は、100日にもなりました。新年度についても既に農家からは引き続き支援をお願いしたいとの意向も示されています。ここまでできたのは「守る会」をまとめる末綱会長のご努力に負うところが大きいのですが、これからも「守る会」へのシニア登録会員を増強し、より地域に喜ばれる活動を目指して行きたいものです。

(文：小谷賢彦)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

「おはぎ、ぼたもち」

同じもののなのに、秋の彼岸には「おはぎ」、春の彼岸は「ぼたもち」、ついでに夏と冬の呼び名もあるとか。日本人の四季の移り変わりの中で養われた豊かな感性には驚かされます。

さらに、面白いのは地域でも違いがあるところ。船橋市周辺では丸めたものではなく、重箱に餡、もち米とうるち米で炊いて半ごろしにした飯、餡、飯、餡…と重ねてミルフィーユのように層にしたおはぎが伝わっています。

昭和30年代以前の甘いもの、たっぷりの飯を食べることが何よりのごちそうだった時代には、彼岸ばかりではなく田植えが終わった後の早苗ぶり、祭りなど行事食には餅やおはぎ（ぼたもち）が作られ親戚や近所にもふるまわれました。

一つずつ丸めるのは手間だったのか、それとも嫁いだ娘にたっぷり食べさせたい親心がミルフィーユのおはぎ（ぼたもち）をつくらせたのか…と想像がいろいろ膨らみ楽しみが一層大きくなります。

（文：遠藤陽子）



松田料理長のおすすめしじじい～南房総の郷土料理～

春といえば、入学式…さくら…お花見ですね！

お花見などで、お疲れ気味になった胃に合う料理を旬の食材でご紹介したいと思います。

○鯛茶漬け

鯛をお刺身よりも少し厚めに切っておきます。胡麻をフライパンであぶり、ゴマのペースト40グラムに酒・味醂・醤油を少量加えて混ぜ合わせます。そのたれに先ほどの鯛を絡ませます。茶碗にご飯を盛って、鯛を載せその上にあぶった胡麻と刻んだ三つ葉を載せて鰹出汁をかけて出来上がり、お好みで山葵を加えるとより上品にいただけます。

○浅利茶漬け

沸騰したお湯に酒を入れて浅利のむき身をボイルして箸にあけます。出汁13・味醂1・薄口醤油1の出汁に先ほどの浅利と千切りした生姜を入れて、さっと煮て冷ましてから身と出汁に分けてその出汁でご飯を炊いて、炊き上がったご飯に分けておいた浅利を混ぜて、お茶碗に持って、三つ葉を載せてほうじ茶をかけたなら出来上がり。そのままでも、浅利御飯として頂けます。

○細魚のまご茶

細魚を三枚に卸して、腹骨と皮を取り斜めに包丁で棒状に切り大葉・長葱・生姜の微塵切りと合わせて、御飯の上に載せて鰹出汁をかけて出来上がり。

（文：松田光央）



●団体会員（37団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館（株）ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、（有）みねおかいきいき館、（一財）千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、NPO 法人鴨川自然学校、（株）かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock（ライブストック）、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会（勝浦エンゼルアドベンチャーランド）、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、森の時計・自然工夫塾、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、（一財）千葉県環境財団、（有）銚子海洋研究所

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、（財）ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家（千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月）
（南房総市の施設として平成20年4月～）
- ・千葉県立大房岬自然公園（平成18年4月～）
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家（平成20年4月～）



大房岬自然公園



大房岬自然の家



君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」（平成16年5月～）
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ（平成26年4月～）

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

千葉事務所のスタッフが
毎回一言つぶやきます。
お見逃しなく！

■新メンバーを迎え、今年度がどんな年になるか期待と不安が交錯しています。数ある中から千葉自然学校を選んだ彼ら、彼女らが一日も早く職場に溶け込み、千葉自然学校の目指す山の頂に向かって一丸となって進んでいきたいと心から願っています。（オーシャン）

■この頃気になっている言葉―「子ども食堂」（サニー）

■春の陽気…一年で最も過酷で辛い日々が春！クシュンッ。（ボクサー）

■身体や脳に「刺激的～！」なことを提供したいし、自分自身も感じていきたい！（たこはち）

■梅も満開に近づき、春の気配を感じる頃になって来ました。厳冬の季節を感じぬままに春になっていくようで、少しさみしいような冬のシーズンでした。（アリ）

■天然はちみつのはちみつにびっくり。自然の力は計り知れない。少しずつ、知ることからはじめよう。（けろっぴ）

■今年ついに味噌作りに挑戦するチャンスが巡ってきました。楽しみ楽しみ。（かつを）

■春になり、心機一転！季節の変わり目は心のスイッチを変えるチャンスでもありますね。（のりべん）

■新しい年度がスタート。健康で楽しい毎日になるよう頑張ります。（らうす）

《編集後記》

春は花々が咲き誇り、華やかな気分になりますね。3月末から4月にかけて房総の山や民家の庭先で楽しめる「ミツバツツジ」は特におススメです。一斉に濃いピンク色の花をつけるので、鮮やかで見つけやすいと思います。今年の春はぜひツツジにも注目してみてください☆（かみい）

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～

寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先▼（郵便局）

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター（年4回発行）

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

